

平成19年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。
(当社小売グループ:ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
売上高	100.2	102.3	100.2	100.3	103.7	108.5	102.2								102.2

2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
音響映像商品	92.0	104.8	99.3	96.9	102.7	101.4	99.1								99.1
家庭電化商品	107.1	108.7	105.3	102.1	108.7	110.6	106.6								106.6
情報通信機器商品	99.6	95.8	91.0	91.8	94.1	104.6	95.7								95.7
その他の商品	110.7	113.0	124.9	123.8	128.9	132.3	122.5								122.5

3. 概況

2月度は、全店前年比108.5%となりました。前年との曜日・休日比較では、前年は土曜日だった建国記念の日が日曜日と重なったことで月曜日が振替休日となり、休日が1日多く2%程度のプラス影響がありました。

音響映像商品は、薄型テレビが堅調に推移したものの、昨年はトリノオリンピックで好調だった反動を受けDVDレコーダーが苦戦、101.4%となりました。家庭電化商品は、洗濯乾燥機やスチームレンジといった高付加価値商品が引き続き好調に推移、暖冬により暖房器具が苦戦したものの、花粉対策商品である空気清浄機が好調な滑り出しをみせ、110.6%となりました。情報通信機器商品はWindowsの新OS Vistaが発売され、Vistaを搭載した本体とパソコンソフトが好調に推移、携帯電話も各キャリアの新製品が順調に推移し、104.6%となりました。その他の商品は、年末に発売された据置型ゲーム機(任天堂Wii・ソニープレイステーション3)に加え、携帯型ゲーム機(任天堂DS Lite・ソニーPSP)、関連するソフト・アクセサリが好調に推移、132.3%となりました。